

新型コロナウイルスワクチン 接種に関する緊急要望

2021. 05. 18

公明党春日部市議団

新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

政府は、新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、3回目となる緊急事態宣言を発出し、さらに、5月31日までの期間の延長、9都道府県への区域拡大やまん延防止等重点措置の延長・追加などの対策がとられているところである。

こうした取り組みの中で、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充と共に、何よりも、市民への円滑なワクチン接種を進めることが重要であると考えられる。コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての市民が接種対象であり、万全の体制整備について、下記のとおり緊急要望するものである。

記

1. 政府は、7月末を念頭に高齢者へのワクチン接種を終えられるよう取り組むとしているが、多くの高齢者が接種を希望していることから、我が市の接種計画を明確にすると共に、埼玉県と密接な連携の下、接種に当たる医療従事者への優先的な接種を早急に行われたい。

2. アナフィラキシー・ショック等への副反応報道がなされている中、ワクチン接種に不安を抱える市民も多い。また、今後ファイザー社製のワクチンに加え、モデルナ社やアストラゼネカ社のワクチンの薬事承認が期待される中、ワクチンの安全性等について、タイムリーで分かりやすい丁寧な情報発信に取り組まれない。

3. 接種券と同時に郵送される接種会場の一覧や予約の案内などが同封されて居るが、文字が小さく、高齢者などが理解するのに苦労している現状がある。今後の印刷に当たっては、文字の拡大などに留意されたい。

4. 集団接種会場において、事前に予診票を記入していないことも想定される。会場でアドバイスを受けながら記入できるよう、アドバイザー職員と記入用の座席の確保など配慮に努められたい。

5. 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のため、移動のタクシーの利用につかえる商品券をワクチンクーポン券と共に同封するなど市民への負担を軽くして欲しい。また、必要な場合は、訪問資料などを活用し訪問による接種も検討すること。

6. 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行われることも想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行い、この期間においては、障がい者の方々等へのきめ細やかな配慮を行い、速やかな予

約に繋がるよう特段の取り組みを行われたい。

7. 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に講じられたい。

8. 車いす利用の接種希望者が会場での不自由が生じないよう、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど、合理的な配慮を十分に講じられたい。

9. 変異株の感染者の急増、高齢者以外で基礎疾患のない若者達にも感染が拡大していることから介護施設、障害者施設などを利用される市民、従事者などは65歳以上という年齢に限らず、優先接種が行えるよう取り組む事。

10. 今後、一般の市民を対象とした接種も想定し、特設会場による集団接種のみならず、地域のかかりつけ医などでの接種が広範に出来るよう、更に、地域医師会との協議を進められたい。

11. 先行予約期間における処遇として、9月に留学する学生・生徒について、ワクチン接種が義務づけられていることから、留学するまでに2回の接種が実施出来るよう配慮されたい。

12. 集団接種会場における経過観察時間を活用して、接種済者が注意すべき事項、例えば接種後直ぐに体内の免疫が形成されるわけではなく引き続き十分な感染予防が必要であること、翌日に発熱などの副反応が顕著であることなどについて分かりやすく周知を図る映像などを上映されたい。

13. 国による大規模接種センターが利用できることとなり、春日部市内の65歳以上の高齢者も対象となっていることから、速やかに接種券を配送することを検討されたい。また、市民に制度の概要を十分周知するとともに、接種会場までの移動について適切なサービスを検討し、実施されたい。

14. 接種の予約にあたり、電話が繋がらない、LINEやネットの活用も出来ないという声が多いことから、地区公民館、保健センターなど公共施設での予約体制を整えること。

15. 接種の予約が困難な状況を解決出来るまでは、5歳刻みとなっている現状の体制をさらに細分化するなど対策を検討すること。

令和3年5月18日

春日部市長 石川良三 様

公明党春日部市議団
幹事長 栗原信司